

メルコジャパン

宮城県の新工場竣工

航空機関連など精密品加工

ステンレス販売加工業者のメルコジャパン（本社・茨城県日立市、社長・栗田鋼二氏）が、航空機部品事業参入を目指し、宮城県山元町に建設を進めていた新工場がこのほど完成し、1日、現地での竣工式と工場見学会を行った。福島県相馬市にあるIH1相馬工場などの航空機部品をメインに、自動車や半導体など幅広い精密機械分野の加工需要捕捉を目指した設備投資。3年後には売上高10億円を見込んでいる。

新工場は、宮城県山元町坂本の国道6号沿いの敷地9900平方メートルに、鉄骨造平家建3棟で構成。総床面積は3220平方メートルで、今年4月に着工し、構造体は新日鉄住金エンジ

を収めた。

第2工場は航空機関連の精密機械加工工場。ヤマザキマザック、牧野フライス製作所の最新鋭機を配備し、大型ワークや難削材加工

も高速、高精度に対応できる体制を構築した。

第3工場は精密洗浄工場で、純水を使った高品質な精密洗浄を実施する。

事業費は約23億円で、約半分は国の津波で、原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用。設計・施工は阿部和工務店が担当した。



完成した新工場

イ・水プラズマ兼用切断機3台、6kwC02レーザ1基、5kwトフアイバレーザ1基を配置し、多品種少量・短納期に対応できる高効率体制

